

Accelerated English Studies(AES)コース受講生募集要項

AES コース受講生を、以下の要領で募集します。

【AES コースとは】

本学科カリキュラムの特色の 1 つで、学習意欲と英語能力の高い学生を対象とするコースです。より高度な、とりわけ海外の高等教育機関への留学や卒業後の進学および現地での就業に求められる英語運用能力を有する学生の育成を目的としています。実際、受講生のうち数名が 3、4 年次に本学の協定大学留学制度を利用した留学をし、成果をあげています。2 年次春学期からの受講を基本としますが、2 年次秋学期または 3 年次春学期から受講のチャンスもあります。

〔参考〕2019 年 11 月実施 TOEIC スコア（2018 年度生） AESA 平均 720 点 AESB 平均 651 点

【科目構成】

AES コース生のみを対象とした科目を履修します。授業担当者は主にネイティブスピーカー教員で、英語による講義・演習を行うため、受講生はハイレベルな環境で学ぶことができます。授業では英語による活発な意見交換も行うため、国内にしながら留学体験ができます。

2021 年度 2 年次生対象科目	単位数	備考	2021 年度 3 年次生対象科目	単位数	備考
[基礎教育科目]			[基礎教育科目]		
Public Speaking I・II (AESA)	1 単位		Academic Skills I・II (AESA)	2 単位	
Public Speaking I・II (AESB)	1 単位		Academic Skills I・II (AESB)	2 単位	
Active Listening III・IV (AESA)	1 単位		CALL English I・II (AES)	2 単位	AB 合同
Active Listening III・IV (AESB)	1 単位				
Reading III・IV (AESA)	2 単位				
Reading III・IV (AESB)	2 単位				
Writing Strategies I・II (AESA)	2 単位				
Writing Strategies I・II (AESB)	2 単位				
[応用・各論科目]					
Studies in English L (AES)	2 単位	AB 合同			
Studies in English M (AES)	2 単位	AB 合同			

【定員】

AESA コース（上級）、AESB コース（中級）それぞれ約 20 名。

【申請資格】

申請時に 1 年次生または 2 年次生で、学習意欲と英語能力の高いすべての希望者を選考の対象とします（ただし、受講生はより高い Self-discipline が求められます）。積極的に申請してください。

【コース受講の継続について】

学期終了ごとに、授業態度や英語能力をもとに、受講生の審査を行います。各科目の合格ラインは 80 点で、AES 科目が 1 科目でも不合格になればコース受講を継続することはできません。その場合、「英米文学基礎ゼミナール I・II」のクラスも変更となります。それに伴い、テキストを新たに購入しなければならない場合もあります。
なお、受講継続の場合は新たに申請する必要はありません。

【修了証】

通算 2 学期以上コースに在籍して対象科目の単位を修得した者に、AES コース修了証を発行します。

【コース在籍中にセメスター語学留学した場合】

帰国後 AES コースを受講することはできます。ただし、AES 科目は、セメスター語学留学に係る単位授与科目には該当しません。

【申請方法】

・申請期日までに下記（１）（２）の書類 2 点を英語英文学科事務室へ提出してください。（３）の推薦書は、担当教員経由で英語英文学科事務室へ提出してください。

（申請期間中に、セメスター語学留学、協定大学留学、認定留学中の場合は、必ず留学開始前に英語英文学科事務室に相談してください。）

（１）Application Form for AES Course

- ※ 用紙は英語英文学科事務室にて配布します。
- ※ 英語に関する既取得資格を記入すること。受験日を間違いなく記入すること。
- ※ 英語に関する既取得資格について、それを証明する合格証等の原本を申請時に必ず持参し、提示すること（その場で確認して返却します）。

（２）Essay（コピー可）

現 1 年次生：Writing Skills で書いた Essay

現 2 年次生：Writing Strategies で書いた Essay

- ※ 右上に学籍番号、氏名（漢字）を必ず記入すること。
- ※ 担当教員による添削済みの Essay を提出する場合は、同じく右上に“Corrected Version”と記入すること。

（３）推薦書 3 通（下記に記載の各担当者へ作成をお願いする）

現 1 年次生：Writing Skills【アドバイザー】/ Speaking / Active Listening

現 2 年次生：英米文学基礎ゼミナール【アドバイザー】/ Public Speaking / Writing Strategies

- ※ フォームは英語英文学科事務室にて配布します。
- ※ 先生方へは早めに依頼すること。

【申請締切】

2 年次生で、今年度秋学期からの履修… 2020 年 7 月 3 日（金）17：00

1・2 年次生で、2021 年度春学期からの履修…2020 年 11 月中旬（詳細は 10 月に発表）

【選考方法】

以下の諸要件により総合的に判断します。

- （１）提出書類
- （２）推薦書
- （３）春学期成績(GPA)および秋学期履修状況（成績通知書を提出する必要はありません）
- （４）面接（AES コーディネーターが必要と判断した申請者のみ）
- （５）TOEIC® L&R および TOEFL®（学内受験、IP、ITP を含む）の結果

【選考結果発表】

2 年次で、今年度秋学期からの履修… 7 月下旬

1・2 年次で、2021 年度春学期からの履修…2021 年 1 月中旬（選考結果通知を個別に手渡しします）。

【担当教員・現受講生の声】

This is your chance to challenge yourself and be the best that you can be!

Being an AES student has many advantages! You will become a much better communicator and you will become more confident in yourself. Take the challenge! Good luck!



私は英語能力を向上させたいと思い、AES コースに入りました。しかし、AES コースは私の英語能力を向上させるだけではなく、自信、様々な分野の知識、英語を学習するモチベーションを与えてくれました。

私は AES コースに入る前は人前で英語を話すことに自信が持てませんでした。AES コースでは英語で話す機会がたくさんあります。最初は AES の授業についていけないのか不安でした。しかし、英語で何度も聞き、話すことを繰り返し重ねるごとに、不安や緊張がなくなり、私の学習意欲をさらに高め、今では英語を話す楽しさを感じています。授業では文学だけではなく、社会問題や第二言語の学習の仕方といった様々な分野のディスカッションをします。更に、英語の文章能力を養うために他のクラスよりも課題が多いです。もちろん、初めは英語で話すことは簡単ではありません。しかし、ハイレベルな環境でモチベーションを持ったクラスメイトとともに学ぶことで英語能力を向上させることができました。英語能力を伸ばしたい、日本で留学経験をしてみたいと思う人にはぴったりな(最良な、最高の)環境だと思います。

2018 年度生
AESB クラス受講生



【留学に関する基本方針】

本学には、協定大学留学をはじめとする中・長期留学制度が整っています。学習意欲と英語運用能力の高い AES コースの学生は、とりわけこれらを活用した海外留学を積極的に検討するとよいでしょう。

3 年次の留学を希望する場合

2 年次に進級した時点で、所定の英語要件をクリアしていること、利用する留学制度や希望の留学先を定めておくなど、周到な準備が必要です。そのためには、まずは 1 年次生の間に国際課に相談し情報収集を行うなど、計画的に準備を進めていくことが肝要です。そうすれば時間的に無理なことはありません。

4 年次の留学を希望する場合

3 年次の間に、利用する留学制度や希望の留学先を定め、留学準備を行います。そのために、まずは 1 年次の間に情報収集を行い、2 年次で留学に必要な最低限の力をつけることが求められます。

留学先や単位認定状況によっては、4 年間で卒業ができない場合もあります。この点にはくれぐれもご注意ください。

AES コース受講生が、在学中に海外の大学などへ必ず留学しなければならないということはありません。また、このコースに所属していれば必ず留学することができるという訳でもありません。本コース設置の趣旨は、あくまでも「海外留学で十分な成果を上げられるだけの基礎的な英語運用能力を養成する」ことにありますので、実際に留学するかしないかは各々の判断に委ねられます。

協定大学留学、認定留学いずれの場合も、留学に関わる諸手続きは各自の責任において行う必要がありますが、国際課、および英語英文学科教職員が、みなさんの質問や相談に応じます。気軽にお尋ねください。